

家畜の届出伝染病発生届

東京都知事（東京都家畜保健衛生所長） 殿

家畜伝染病予防法第4条第1項の規定により下記のとおり届け出ます。

届出年月日時： 令和 ○年 4月 10日 時

届出事項	記入欄
1. 届出者の氏名及び住所	東京都新宿区〇〇一丁目1番〇号 〇〇動物病院 東京 花子 ← 動物病院名と診断した獣医師名 (連絡先 TEL : 00-0000-0000)
2. 家畜の所有者の氏名 又は名称及び住所	新宿 太郎 東京都新宿区〇〇二丁目2番〇号
3. 届出伝染病の種類並び に真症及び疑症の区分	レプトスピラ症 真症
4. 家畜(死亡した家畜を含 む)の種類、性及び年齢	犬、雄、10才
5. 発生頭羽数	1頭
6. 真症若しくは疑症の家 畜又はこれらの死体の所 在の場所	2に同じ
7. 発見の年月日時及び 発見時の状態	令和○年4月5日 元気消失、食欲不全
8. 発病の推定年月日	令和○年4月2日
9. その他参考となるべき 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転帰（入院中、回復、死亡など） ・ 診断に際して実施した検査とその結果（PCR、ELISA、MAT法など） ・ その他（レプトスピラワクチン接種歴、飼養環境、疑われる感染経路、飼い主に対する消毒指導など） <p style="text-align: right;">など</p>

犬の飼育場所を記入。
※飼育場所の都道府県へ届出してください。

真症または疑症を記入
届出対象の7血清型：
Leptospira Pomona、*L. Canicola*、
L. Icterohaemorrhagiae、
L. Grippotyphosa、*L. Hardjo*、
L. Autumnalis、*L. Australis*
※臨床症状、PCR結果等を総合的に判断
してレプトスピラ症と診断した場合は、
血清型判別まで行っていない場合でも真
症として届出。確定診断ではなく疑いの
場合は疑症として届出。